

# 栃身協たより

第 42 号

発行日 令和 7 年 1 月 1 日  
発行所 栃木県身体障害者団体連絡協議会  
宇都宮市若草 1-10-6  
とちぎ福祉プラザ  
障害者スポーツセンター内  
☎・Fax 028-678-4401  
E-mail info@tochi-shinkyo.org



## 新年のごあいさつ

栃木県身体障害者  
団体連絡協議会会長  
麦倉 仁 巳

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃から会員の皆様はじめ関係者の皆様には当会の各種事業にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年4月からは改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者も合理的配慮が義務化されました。それに伴い栃木県においても、共に支え合う共生社会実現のための障害者差別解消推進条例の改正や対応指針となる障害者差別解消のための道しるべ等の対応をしていただきました。

私たち障害者も、自らの障害を相手に理解していただき相互理解のうえに住みやすい共生社会が実現するとの自覚と啓発活動が必要となりました。

また、コロナ禍も落ち着きを取り戻したことにより、第30回栃木県民福祉のつどいは従前に準じた各分野の受賞者の出席による表彰式を行い、障害者文化祭（カルフルとちぎ2024こころのつどい）もあいにくの雨天ながら盛大に開催をすることができました。

さらに、栃木県からの委託事業である障害者の権利擁護や結婚等に関する相談・助言等についても専任の相談員が多様な障害特性に寄り添った対応等を行うことができました。

これからも自主事業と併せて県からの委託事業である障害者のための社会参加支援事業や総合相談事業等に取り組んで参りますので、構成団体はじめ関係者の皆様のなご一層のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたし新年のご挨拶といたします。



## 年頭のごあいさつ

栃木県保健福祉部長  
岩佐 景一郎

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

麦倉会長をはじめ、栃木県身体障害者団体連絡協議会の皆様には、平素より本県の障害保健福祉行政の推進に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

県では、昨年3月に障害者施策に関する基本的な計画である「とちぎ障害者プラン21（2024～2028）」を策定しました。この計画の基本目標に掲げた「障害者の自立と社会参加」及び、障害の有無に関わらず県民誰もが共に支え合う「共生社会の実現」に向けて、各種施策を推進しているところです。

また、昨年4月1日から改正障害者差別解消法が施行されることを踏まえ、事業者による合理的配慮の提供を義務化し、障害を理由とする差別の解消の一層の推進を図るため、栃木県障害者差別解消推進条例を改正しました。条例改正に合わせて、県民が障害者等への理解を深め、障害者の社会参加の障壁をなくすための具体的な行動指針である「道しるべ」を活用し、改めて合理的配慮の考え方や必要性について周知・啓発を図り、より一層の意識の浸透に努めて参ります。

今後とも、障害のある方が地域で安心して豊かに生活を営むことができるよう、様々な支援の更なる充実に取り組んで参りたいと考えておりますので、貴会を始め関係団体の皆様におかれましては、なご一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御多幸、御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

(2) 栃身協たより

## 第30回 栃木県民福祉のつどい

令和6（2024）年8月29日(木)に、第30回栃木県民福祉のつどいが栃木県教育会館大ホールにおいて開催されました。

この福祉のつどいは、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」におけるノーマライゼーション社会の実現とソーシャル・インクルージョンの推進に寄与することを目的に例年開催されているものです。

新型コロナウイルス感染症の影響等で、ここ数年は規模縮小しての開催でありましたが、今年は受賞者すべての参加が可能となりました。

栃木県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰ほか4団体による会長表彰が行われ、障害者関係では、栃木県知事表彰7名、栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰13名が受賞されました。また、第2部の記念講演を開催しました。テーマは「災害時に誰一人取り残さない社会を目指して」と題し、講師に鍵谷 一氏をお迎えしました。



### 栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰受賞者

(敬称略)

#### ☆自立更生者（7名）

小口 巖（宇都宮市）	齋藤 容子（宇都宮市）	黒田 豊（栃木市）
野澤ひろ子（栃木市）	筑井 君子（栃木市）	豊岡 シン（さくら市）
秋元 貞男（塩谷町）		

#### ☆更生援護功労者（6名）

高橋 正明（宇都宮市）	山下 文人（宇都宮市）	山野井兵助（栃木市）
二本柳勝夫（栃木市）	薄根ヨシ子（市貝市）	和氣 邦夫（塩谷町）

### お知らせ

○栃身協役員の変更がありました \*令和6年6月13日理事会承認

理事 須藤平八郎（栃視協）	→兼目ちえ子（栃視協）
小川マサエ（栃聴協）	→稲川 和彦（栃聴協）
小堀 哲生（とちぎ健福協）	→島田 充高（とちぎ健福協）
監事 黒川 昌子（栃視協）	→藤野 洋子（栃視協）

(敬称略)

## 第27回栃木県障害者文化祭



令和6(2024)年11月2日(土)、とちぎ福祉プラザと障害者スポーツセンターをメイン会場に「カルフルとちぎ2024こころのつどい」が開催されました。あいにくの雨模様で、セレモニーなどは屋内に場所を移して行われました。昨年に続いて、今年も従前に近い形での開催となり、県内障害児者施設・学校等の皆様による、絵画・書・写真・工芸品の作品展示、手工芸品・パン・クッキーなど製作品販売、芸能発表、障害者スポーツのポッチャの体験会、福祉車両展示や障害者団体の活動コーナーなどが設けられました。悪天候の中ですが、多くの方々に来場いただきました。



## 結婚相談所の登録者を募集しています

- 対象：原則として、県内に在住し結婚を希望する20歳から65歳くらいまでの方。  
費用は無料です。
- その他：・女性の登録者が少ないため、女性の方大歓迎です。  
・関東ブロックで行われる交流会に参加できます。

結婚相談以外の総合相談も受け付けています。お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

※相談日時：毎週水・金曜日 毎月第2 日曜日 (祝日、年末年始は除く)  
午前10時～午後3時  
TEL・FAX 028-623-6353  
Mail : soudan@tochi-shinkyō.org

栃木県身体障害者総合相談所：栃木県身体障害者団体連絡協議会内

## 障害者社会参加支援事業(バス借上げ料の助成)

障害者の社会参加を促進するために、県域または広域的に活動する障害者団体等が社会参加活動を行うにあたり、借上げバスの利用が必要な場合のバス借上げ料の一部(1日1台当たり25,000円を限度)を助成します(H22年度から実施)。

詳しくは、栃木県社会参加推進センターのホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。(HP : <http://www.tochi-shinkyō.org/>)

### 栃木県障害者社会参加推進センター ホームページの紹介

<http://www.tochi-shinkyō.org/>

会員以外にも広く参加を呼びかけたい講演会・研修会・旅行等の行事についてお知らせください。ホームページのイベント情報サイトに掲載します。電話・メール等で御連絡ください。



## 第23回全国障害者スポーツ大会

# 「SAGA 2024」開催される

体育からスポーツへ、国体が「国スポ」に生まれ変わった2024年。

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」が佐賀県で開催となりました。

大会メッセージである「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」のもと、選手等は躍動いたしました。

■期日 令和6年10月26日(土)～28日(月)

### ■栃木県選手団の概要

選手団：91名（選手50名 ※うち身体障害者16名、役員41名）

### ■競技別結果（各競技の獲得メダル数：金・銀・銅）

○陸上競技（4・6・3）	○水泳（1・3・0）	○アーチェリー（0・0・0）
○卓球（4・1・0）	○フライングディスク（2・2・0）	○ボウリング（1・0・0）
○ボッチャ（0・0・2）	○ソフトボール（0・0・0）	

⇒ ◎合計 29（金12、銀12、銅5）

🌸 選手、役員の皆様、本当にお疲れ様、そして、関係者の皆様、ありがとうございました！ 🌸



## ● 編集後記 ●

令和7（2025）年は、巳年。十干千支では、乙巳（きのとみ）だそうです。60年周期の干支の中で42番目で、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。また、巳年生まれの方は、へびはお金が貯まる吉祥のモチーフとしても知られ、お金の困らないとも言われています。いかがですか。

皆様にとって、素晴らしい1年でありますように！

